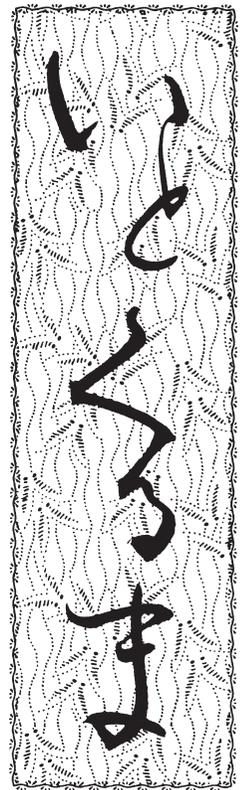




庭園入口の門



福祉棟から見た外山ハツ記念庭園



第 43 号



同窓会会長

平田 優子

S55年卒業(旧姓若山)

各地から桜の花の開花宣言も聞こえてくる季節となりましたが、遠くの方々はまだ真つ白い雪が残り、朝夕の寒さに春がすぐそばで足踏みをしているように感じられる今日この頃、同窓生の皆さまにおかれましてはお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

世界規模で感染が広がる「新型コロナウイルス」の影響により日本国内でも様々な弊害が巻き起こり、正常な社会生活を営むことができない状況に追い込まれている大勢の方々が本当にお気の毒で、一刻も早くこの事態が収束してくれることを心から願うばかりです。

母校も自粛要請を受け感染拡大防止のため、今年は「校内予餞会」「同窓会入会式」「卒業交歓会」が中止となりました。卒業式は毎年と同じ三月三日に、卒業生と教職員のみで挙行され、在校生も保護者も来賓も列席はかきませんでしたが、「大変感動的」な素晴らしい卒業式だったとお聞きいたしました。教育の原点、先生と生徒の心のふれあいを感じられる今年ならではの卒業式だったのではないのでしょうか。卒業生の皆さんにはこの卒業式を大切な素敵な思い出として心に刻み、

たくさんの困難が待ち受ける社会に勇気をもって羽ばたいてくださることを願っております。

さて、皆さまに悲しいお知らせをしなければなりません。長年にわたり母校と同窓会の発展にご尽力くださった偉大な先輩お二人が相次いでご逝去されました。昨年十月にS十九年卒業の佐藤ミエ(旧姓畑中)さん、今年一月にはS十八年卒業の山鼻米子(旧姓松田)さんをお見送りました。佐藤ミエさんには毎年の同窓会親睦会に余興の景品を、また、母校の周年事業の際には多額の寄付金を頂戴致しました。函館市への貢献度も高く、まさに母校が教育目標に掲げる「広く社会に貢献できる女性」を体現されていらつしやいました。もうお一人の山鼻米子さんは、同窓会の副会長を務められ退任後も相談役として長く運営に携わってくださりました。明るく朗らかなお人柄とユーモアあふれる語り口には同窓生のファンも多く、何度か親睦会でもお話をしていたいただきましたが、その話の面白さに拍手喝采を浴びられていたことを覚えております。母校の教えにある良妻賢母の二本のような方でした。

お二人の姿から何を学び、次の世代に何を伝えていくのかは私達に与えられた課題として向き合つて行かなければならないものだと思います。母校の建学の精神や伝統として紡いできた大妻らしさは同窓生一人一人の生き方の原点です。同窓会もその原点に立ち返り、上手に世代交代していけるよう努力する所存でありますので、皆さまには今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。佐藤ミエさん、山鼻米子さん、今まで本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

新役員紹介

役員欠員にともない、同窓会総会で承認されました。皆さまどうぞよろしく願います。

副会長(会計兼務)

三井 幸子

S50年卒業(旧姓加藤)



副会長をお受けすることとなりました。今までもお会計も兼務します。不慣れなところも多々ありますが、皆様に助けていただきながら役員と協力し、これからも精一杯頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。

会計監査 森

真由美

S62年卒業(旧姓内田)



少しずつお手伝いさせて頂いてましたが、この度会計監査を引き受ける事になりました。改めて気を引き締めて笑顔で頑張りたいと思っております。同窓会の皆様、宜しく願います。

令和元年度 同窓会総会・親睦会

令和元年7月6日(土) 於 花びしホテル

今回の親睦会では、6年ぶりに母校吹奏楽部の皆さんに演奏していただきました。全道大会出発前の貴重な時間を割いてのすばらしい演奏に、会場中が感動の涙と拍手に包まれ、とても素敵なひとときを過ごすことができました。



各支部会が開催されました



第48回 函館大妻高等学校同窓会札幌支部総会
令和元年5月18日 於 札幌サンプラザ



第34回 函館大妻高等学校同窓会東京支部総会
令和元年6月8日 於 京王プラザホテル



函館大妻高等学校同窓会日高支部交流会
令和元年7月27日 於 うらかお優駿ビルディング「アエル」

日高支部交流会を終えて



日高支部長
岡田 代志子
S 48年卒業(旧姓中井)

まだまだ寒い日が続いておりませんが、同窓生の皆様におかれましては、お健やかに過ごすごしのことと

心よりお喜び申し上げます。

昨年の七月二十七日に日高支部交流会を開催いたしました。当日は母校より池田校長先生、笹森先生、同窓会より川原さん、三井さん、札幌支部より岩崎支部長に出席いただきました。池田校長先生を囲み、母校の事などいろいろとお話していただきました。出席人数は十数名でしたが、校長先生をとて身近に感じられるなごや

かな交流会となりました。この場をお借りいたしましてご出席いただいた方々にお礼申し上げます。さて、来年は日高支部創立五十五周年の年となります。七月の第四土曜日の予定でありますので、夏の日高路へお一人でも多くの方々のご出席を役員一同お待ち致しております。最後になりますが母校の益々のご発展と同窓会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

訃報

在りし日の
お姿を偲んで

感謝の思いが届きますように：
ご冥福をお祈りいたします。

合掌

令和元年10月22日ご逝去
佐藤 ミエ 工さん
S 19年卒業(旧姓畑中)



令和2年1月9日ご逝去
山鼻 米子さん
S 18年卒業(旧姓松田)



トピックス

家政科

令和元年十一月十日(日)、函館市芸術ホールにおいて、第7回家政科学習報告会が開催されました。授業の他、放課後、遅くまで残って仕上げてきた学習成果の披露の場として、毎年貴重な機会となっています。

発表内容はフアツションショー、劇、ピアノ演奏、ダンス、紙芝居、歌唱など多彩で、子どもたちが特別参加し共演してもらった場面もあり、和やかに華麗に時間は過ぎ、特に、家政科全員での歌は圧巻で、保護者をはじめ、来場者の目を引いていました。



場内、たくさんの拍手と歓声に沸きました

福祉科

令和元年十一月十一日(月)、福祉科全学年を対象にした「介護の日」制定記念フォーラムが行われました。今年には函館聴覚障がい者協会の川崎雅子様と函館市専任手話通訳者の池田佳代様から「手話の広がり」と聴覚障がいの生活」と題して講演を頂き、その後の講座でグループに分かれ手話体験することができました。重要なコミュニケーションツールとして知識にはあつたものの、実際に活用するまで至っていない現状でしたが、一人ひとり抱える様々な事情を踏まえ、生徒たちは手話の大切さを改めて再確認するきっかけとなったようです。



手話の基本を学ぶ生徒

食物健康科

令和二年二月一日(土)、食物健康科三年生が教職員に向け、三年間の感謝の気持ちを込めて、コース料理を振る舞いました。先生方はおいしい料理に顔がほころびっぱなしでした。

そして、翌週の二月八日(土)に行われた保護者感謝祭では、さらに腕に磨きをかけ、上品かつ繊細な日本料理を提供することができました。保護者の方も立派になった我が子を目にして感慨深い様子でした。学習の集大成行事として試作を何度も重ね、仲間同士意見を交わし作り上げてきたこの経験はとても自信となったようで、三年生は達成感に浸っていました。



料理の説明も完璧です！

普通科

普通科二年生と三年生が、総合的な学習の時間を利用して北海道立函館美術館を訪れました。二年生は令和元年七月十八日(木)にアール・ヌーヴォーを代表する画家「ミュシャ展」を、三年生は十一月一日(金)に北海道で初めて開催される「タグチ・アートコレクション」球体のパレット」を鑑賞し、学芸員の方からの作品解説に熱心に耳を傾け、一般常識のさらなる習得を目指し教養を深めました。

本校は函館美術館との連携協定を交わしており、これまでも美的感覚を養う目的で、家政科や食物健康科でも行ってきた経緯があります。



美術鑑賞のコツを学びました

同窓会行事中止のお知らせ

- ・令和2年度 同窓会総会・親睦会は、「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、大変残念ですが、中止といたします。
- ・5月 札幌支部会 …… 中止します。
- ・6月 東京支部会 …… 中止します。
- ・大妻祭 …… 同窓会は、不参加といたします。
- ・手づくり会 …… 当分の間、活動休止といたします。

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いたします。

◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆

皆様のご協力ありがとうございます

令和元年度

178,000円

(令和元年12月31日現在)

●編集委員

大田幸美
平田優子

川原ヒサ
本間節子

齊藤賢一
三井幸子

普通科 食物健康科
家政科 家政科
高階 千尋
山本 咲希
星南

幹事
常任幹事

☆令和二年卒業 同窓会幹事☆

●編集後記

去年の札幌支部会に初めて参加させていただきました。和気あいあいの雰囲気の中でとても楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。

今年もぜひと思っていたところ、コロナ禍のため、本部・支部共に同窓会が中止となり、大変残念でなりません。早く収束して、また同窓生の皆さんとお会いできることを心より祈っております。

(大田 記)

平成30年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書

【収入の部】

(平成30年4月～平成31年3月)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 維持費	974,400	943,400	△ 31,000
2 入会金	98,000	96,000	△ 2,000
3 年会費	300,000	205,000	△ 95,000
4 福利厚生事業収益金	100,000	123,868	23,868
5 預金利息	5	3	△ 2
6 雑収入	0	55,669	55,669
7 前年度繰越金	409,445	409,445	0
合 計	1,881,850	1,833,385	△ 48,465

【支出の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 総会費	50,000	50,000	0
2 会議費	10,000	2,851	△ 7,149
3 事務費	25,000	33,684	8,684
4 会報発刊	260,000	238,264	△ 21,736
5 活動費	50,000	43,159	△ 6,841
6 慶弔費	120,000	97,680	△ 22,320
7 出張費	150,000	96,820	△ 53,180
8 支部助成金	240,000	239,300	△ 700
9 記念品	150,000	99,888	△ 50,112
10 積立金	500,000	500,000	0
11 予備費	326,850	0	△ 326,850
12 次年度繰越金	0	431,739	431,739
合 計	1,881,850	1,833,385	△ 48,465

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

令和元年度バザー売上金

手づくり品販売収益金(同窓会総会にて) **121,135円**

食品販売収益金(大妻祭にて) **108,846円**

物品販売収益金 **20,660円**

ご協力ありがとうございました。 **合計 250,641円**

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金して下さった同窓生の皆様には「小物入れ」を同封させていただきました。

サビオやレジ袋など、迷子になりがちな小物を入れ、バッグの持ち手に結んでお使いください。